

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### ▼内相・教育相の交替

・24日、フィラト首相は、ロイブ内相及びシュリャフティツキ教育相を解任し、レキャン情報通信次官を内相に、サンドゥ世銀常任理事補佐官を教育相に任命する提案をティモフティ大統領に送付。同大統領は、同提案を受理し、同解任・任命を命ずる大統領令及びシュリャフティツキ氏を文化・教育・科学担当大統領補佐官に任命する大統領令に署名。

・25日、フィラト首相(自由民主党党首)は、閣僚の交替を今後も行う意向を表明、与党連合AEI所属の民主党及び自由党に対し各党に所属する閣僚の活動評価を完了するよう要請。

#### ▼その他

・21日、ヴォローニン共産党党首は、12日に議会で共産党のシンボル「鎌と槌」の使用を禁じる法案が採択されたことに関し、同党は同シンボルの使用を中止する意向はなく、CIS及びOSCE諸国に対し現政権による不法行為及び人権侵害に関し報告した旨発言。

・23日、ティモフティ大統領は、最高安全保障会議を招集、国家防衛戦略等に関し協議。

・27日、レアンカ副首相兼外務・欧州統合相は、年内にEUとの査証免除を実現するという公約が達成できないことが明らかになった場合、12月に辞表を提出する可能性がある旨発言。

#### ▼世論調査

[CBS-AXA]

・次の日曜日に議会選挙が実施された場合の政党支持率  
共産党:31.6%、自由民主党:20.7%、自由党:8.4%、民主党:7.9%等

・調査は7月6日から15日にかけて1,228名の成人を対象に実施。

### 2. 経済

#### ▼マクロ経済

・25日、EBRDは、2012年のモルドバのGDP成長率予測を前回予想の4.0%から2.5%に下方修正した旨発表。下方修正の理由は、海外からの取引需要の減少と恵まれない天候状況。

#### ▼国家予算

・25日、ネグルツツァ財務相は、8月末には2013年度国家予算案が用意できる旨発言。

### 3. 外政

#### ▼レアンカ副首相兼外務・欧州統合相の東方パートナーシップ外相会合出席

・23日、ブリュッセルにおいて東方パートナーシップ外相会合が開催され、アシュトンEU外務・安全保障政策上級代表及びフューレ欧州拡大・近隣政策担当欧州委員が共同議長を務め、モルドバからレアンカ副首相兼外務・欧州統合相が出席。同会合において2013年東方パートナーシップ・サミットまでのロードマップの実施状況のほか、モルドバ・EU連合協定交渉の進捗状況及びDCFTA創設問題等のEU・モルドバ関係に関しても協議。フューレ委員は、EUはモルドバのための2件の財政支援計画を準備中であり、モルドバに財政支援を行う意向である旨発言。次回会合は2013年秋にヴィリニウスにて開催予定。

#### ▼フィラト首相の訪英

・27日、フィラト首相は、ロンドンオリンピック開会式に出席。

・同日、同首相は、リディントン英国外務閣外相(欧州問題担当)と会談し、両国間関係の発展に関し協議。リディントン閣外相は、民主主義の強化のためのモルドバの改革実施過程の支持を表明。また、両者は法務、貿易・経済分野における協力等に関して協議。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)